はじめに

本ゲームのインストールプログラムはハードディスク上からの起動で、CD－ROMドライブが動作することと、DOSの外部コマンドがハードディスクにインストールされていることが前提に作成されています。

インストールに際して、ソフトウェア・ハードウェアに障害が発生しても、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。重要なファイルはあらかじめバックアップを取っておくことをお勧めします。

また、ハードディスクの運用につきましても、ハードメーカーの取り扱い説明書をよく読んで、誤操作の無いようにお願い致します。

また、インストールプログラム「INSTDDS.EXE」を使用しないインストールは一切保証しません。

注意事項

インストール作業後ドライブ状態が変化すると起動ディスクから起動できなくなります。
インストール作業は、ゲームを起動する環境で行ってください。
インストール作業をするときは、必ずハードディスクから起動してください。
フロッピー起動だと正常にインストールされません。

WINDOWS 95上からのインストール準備 ～インストールプログラムの起動

1. 内容が消えてしまってもよいフロッピーディスクを WINDOWS 95上でシステム転送付きのフォーマットします。

2. CD－ROMドライブに「偽典・女神転生」のCDをセットして、エクスプローラを起動します。参照するドライブをCDにして、INSTDDS.EXE をダブルクリックしてください。インストールプログラムが起動します。

MS－DOS 5.0以降からのインストール準備 ～インストールプログラムの起動

1. 内容が消えてしまってもよいフロッピーディスクをFORMAT.EXEでシステム転送付きのフォーマットします。
2. ハードディスクから起動しコマンドプロンプト状態にします。
   DOSシェルやWINDOWS3.1、メニューモードなどが自動的に起動する場合はそれらを終了させてください。
3. CD－ROMドライブに「偽典・女神転生」のCDをセットし、カレントドライブをCD－ROMに変更します。キーボードから「INSTDDS」と入力してリターンキーを押してください。インストールプログラムが起動します。

インストールプログラムの起動と起動ディスクの作成

1．インストールプログラムが起動すると、接続されているハードディスクのドライブが一覧表示されるので、一覧の中からインストール先を指定します。
インストールプログラム上での選択はカーソルキー、決定はリターンキーになっています。また、エスケープキーを押すとインストールプログラムを終了します。インストールに必要な容量に足りない場合はインストールプログラムを終了し、いらないファイルを消して、必要な容量を確保してから再度インストールプログラムを起動しなおしてください。

2. 指定されたドライブに「DDS98」というディレクトリが作成され、ファイルの転送が始まります。全ファイルのインストールには時間がかかります。（通常30分）
SMARTDRV.EXEを使用するとインストールにかかる時間が短縮されます。
SMARTDRV.EVEの詳細はDOSのマニュアルなどをご覧下さい。

3. 全ファイルの転送が終了すると、「AUTOEXEC.BATとCONFIG.SYSを作成しますか」と聞いてきます。「準備」でフォーマットしたフロッピーディスクをドライブ1に挿入し、「はい」を選択してください。「偽典·女神転生」の起動に必要なファイルをフロッピーディスクに作成します。「いいえ」を選択した場合は、「DDS98」のディレクトリの中にAUTOEXEC.BATとCONFIG.SYSが作成されます。

4. ゲームに必要なDOS外部コマンドをハードディスクから検索します。
検索した結果複数のファイルが見つかることがありますが、WINDOWS 95のDOSモードでインストールをした場合、MOUSE.COMを除く他のファイルは「WINDOWS」ディレクトリ内にあるファイルを選択してください。
（WINDOWS 95上に、MOUSE.COMは用意されていないので別にお買い求めのDOSから起動ディスクへ転送して使用してください。）MS−DOS 5.0 以降のバージョンからインストールをした場合、全てのファイルはDOS外部コマンドをインストールしたディレクトリ（通常は［DOS］）内にあるファイルを選択してください。

5. インストール作業は終了です。お疲れ様でした。
リセットボタンを押して起動ディスクから立ち上げてください。
「偽典·女神転生～東京黙示録～」が起動します。